

# 島根県フェンシング協会

## これまでのあゆみ

### 【競技の導入、協会の設立、全国レベルへ】

昭和38年島根国体誘致に備えるため、県内にフェンシング競技が導入され、翌39年島根県フェンシング協会を設立し島根県体育協会に加盟。

昭和40年松江工業高校、松江家政高校にフェンシング部創設。第1回島根県選手権大会を松江市で開催。(参加選手15人)

昭和41年日本フェンシング協会に加盟。

昭和42年埼玉国体に、成年男子が初出場。

昭和44年電気審判器を導入。長崎国体に、中四国ブロックを突破して少年男子が初出場。

昭和50年安来高校にフェンシング部創設。同年、三重国体に少年女子が初出場。

昭和51年国体中四国ブロック大会を初主管開催。(競技運営面の体制作りが進められた)

昭和52年に全国高校総体男子団体、昭和54年に国体で少年男子がいずれもベスト4に進出するなど、この時期、競技力は全国レベルに到達した。

### 【島根国体向け全国トップレベルへ】

昭和53年島根国体会場地の広瀬町で、講習会、巡回指導による小中学生の普及・養成事業を開始。(本事業は今日までの礎となる)

昭和55年栃木国体で、成年男子エペ種目で4位入賞。(国体成年初入賞)

昭和56年全国高校総体で細川哲広選手(松江工業)が、サーブル個人優勝、昭和57年全国高校選抜で荒木俊貴選手(安来)、米田敏子選手(安来)がともにフルーレ個人優勝。同年全国高校総体では、安来高校女子が団体優勝。米田敏子選手(安来)がフルーレ個人優勝するなど、島根国体を前に競技力は全国トップレベルに到達した。

### 【島根から世界へ・オリンピック等】

昭和59年ロサンゼルス大会、昭和63年ソウル大会に金津義彦選手が出場。平成4年バルセロナ大会に田部仁一選手が出場。世界選手権大会、ユニバーシアード大会、ワールドカップ大会等の日本代表選手を多数輩出した。令和5年世界Jrフェンシング選手権大会に津森志道選手(法政大学・松江FC出身)が出場し県勢初となる世界選手権での銅メダルを獲得した。



津森志道選手

## 現在の状況

昭和53年にスタートした広瀬町の巡回指導を礎とし、現在、広瀬町FC、松江FC、安来FCのジュニアクラブが

創設され、熱心な指導者のもと、各地区で練習を行い、中四国・全国小中学生大会等で入賞している。

令和5年度より、2030年に開催される島根かみあり国スポにおける少年男女選手強化のため、3クラブ合同強化練習会を、中学生、小学生高学年・低学年に区分し開催している。併せてクラブ指導者の資質向上を図っている。ジュニアクラブにおいて、小学高学年までに剣操作・ルールを習得し、中学生において実戦感覚を身に付け、全国の強豪選手と数多く対戦し、全国レベルの選手を育成し、高校に繋げている。



広瀬町FC



松江FC



安来FC

## これから

今後、2030年島根かみあり国スポ総合優勝に向け、協会一丸となって目標を達成したい。先人が築かれた必勝サイクル【ジュニア育成⇒高校の強化⇒強豪大学進学⇒日本代表選手輩出⇒強豪選手の帰県(ふるさと登録)】を継承していきたい。2025全国高校総体、2030国スポの開催にあたり、大会会場の安来市と更なる連携を深め、競技力の向上と、大会運営を始めとする組織充実を図り、2030国スポ以降も継続して取り組んでいきたい。島根フェンシングの競技力は、小中高生の活躍にあると思っている。